

JAハリマの地域貢献活動

JAハリマでは、第11次中期経営計画の変革目標Ⅱに「地域に寄り添った協同活動により、豊かで暮らしやすい地域社会を実現します」と定め、その重点目標の一つに、営業部活動を通じた地域コミュニティの活性化に取り組むことにしています。

工夫凝らし 貯金箱づくり

夏休み小学生工作教室

JAハリマでは、8月2日に一宮営業部とちくさ営業部で夏休みの宿題の工作にと貯金箱づくりを開催し、合計で児童55人と保護者21人が参加しました。

JAが用意した紙粘土やペットボトル、牛乳パックなどを使い、オリジナル貯金箱づくりに取り組みました。カッターナイフ等、危険を伴う作業や難しい所は、職員や保護者に手伝ってもらいながら作業を進めました。形を整えた後は色付けです。ビー玉やラメを上手にあしらってお菓子の家や動物・キャラクター・怪獣など、それぞれアイデアいっぱいの見事な貯金箱に仕上がりました。

子どもたちは、「友達と一緒に作れてとても楽しかった」と話す子や、「やったー！これで夏休みの工作ができた！」と大喜びする児童もありました。

お父さんやお母さんはもちろん、おじいちゃん、おばあちゃんと参加した児童もあり、両会場とも夏休みの一日を楽しく過ごしました。

細かい作業で工夫を凝らしました



どんな形になるのかな？



たくさん参加いただいた一宮会場



みんな一生懸命のちくさ会場

JAハリマは、皆様に心豊かな毎日を送っていただくため、大人から子どもまで幅広い層に対して、生活に密着した活動を実践していきます。



お母さんもほんのちょっぴりお手伝い

